

園だより

2021年7月号
2021年7月1日発行

スマホ依存にご用心

いよいよオリンピックに向けてのカウントダウンが始まりました。コロナ感染症の広がり、開催には賛否両論がありますが、園内ポスターでもお知らせしたとおり、黎明の卒園児の荒井大輔さんが、パラリンピックの車椅子テニス代表選手に選ばれたニュースで保育園中が盛り上がっています！自分の目標を得て、それに向かってどれほどの努力を重ねてきたことでしょう。巣立ちの親ごころに近い誇らしい気持ちで、試合がとても楽しみです。皆さんもどうぞ一緒に応援してくださいね。

さて、ワクチン接種も進んで行動範囲も広がり、孫と一緒に夏のお出かけも少しはできるかと期待しています。しかしながら、電車や車の中、レストランなどではついつい子どもが騒がないようにスマホでYouTube動画を見せまいます。それ以外でも日常的に無意識に大人のスマホやYouTubeを子どもに見せて、子守代わりにしていないでしょうか？

『最近の育児はマルチタスク（不適切なかわり方）と言っても過言でない状況が進行しています。子どもが泣いているのには気づいても親はゲームを辞められなかったり、子どもと一緒にいてもメールやラインの返信に夢中で関わらなかったり・・・中略・・・これらは、子どもの生活の世話はできていても、子どもの気持ちや発達に対する配慮に欠け、コミュニケーションが過度に不足している状態です。特に、スキンシップは子どもの愛着の形成にとって大きな役割を果たすため、この状態が続くと愛着障がいになります。子どもにとって欠かせない「親に甘える時間（子どもが愛されている実感を持てる時間）」がモバイル機器によって奪われてしまっています』キリスト教保育誌より

このように臨床心理士の帆足暁子氏はモバイル機器による不適切な関りが原因で愛着の形成に問題が生じ、情緒や対人関係、社会生活に大きな影響が出ている子どもが増加していると警告をしています。

無意識に行っているモバイル機器との日常ですが、しっかりと意識をもって子どもにかかわる時間を自覚して修正をしていきましょう。大切なわが子の健全やかな成長を誰もが望んでいるのですから。

園長 三幣典子